

# 高岡市ロボットプログラミング競技大会 感染拡大予防ガイドライン

## 1 大会運営上の留意事項

- (1) 競技会場（多目的ホール）へ入場できるのは、以下のとおりとします。
  - ・ 競技に出場する選手
  - ・ 出場する選手の保護者（選手1名につき1名まで）
  - ・ 大会関係者（スタッフ、招待者等）
  - ・ 報道関係者
- (2) 選手及び保護者については、参加競技の終了後は自由に帰宅してよいものとし、入賞者が表彰式に参加しなかった場合は、後日賞状等を郵送します。
- (3) 選手の接触を極力控えた導線になるよう会場レイアウトを設定します。
- (4) 審判は、競技中は手袋を着用します。
- (5) 大会の様子は YoutubeLive 等で配信します。視聴 ID は、大会参加者及び招待者に発行します。

## 2 施設の衛生管理

- (1) 複数の人の手が触れる場所（ドアノブ、テーブル、いすの背もたれ、電気のスイッチ、手すり、蛇口など）は定期的に清拭消毒を行います。
- (2) 他者と共有する物品や手が頻回に触れる箇所を最低限にします。
- (3) 来館者同士の距離をできるだけ2m（最低1m）あけるよう対策を講じます。
- (4) 伏木コミュニティセンター及び競技会場の出入口に、手指の消毒設備を設置します。
- (5) 換気を定期的に行います。
- (6) 受付はアクリル板等で遮蔽し、人が接する機会を最低限にします。

## 3 来館者への対応等

- (1) 受付時に検温を行い、37.5度以上の発熱がある人や、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は、入館を制限します。
- (2) 来館者に対しては、以下を呼びかけます。
  - ・ マスクの着用、入館時の手指消毒
  - ・ 館内での大声での会話や応援の禁止
- (3) 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、参加者等の名簿を作成し、適正に管理します。

## 4 スタッフの衛生管理

- (1) スタッフ全員に出勤時の体温チェックを徹底します。
- (2) マスクを着用し、業務の前後に、手洗いを徹底します。
- (3) 風邪の症状や発熱がある場合や、感染の疑いがある場合には、医療機関を受診させ、体調が万全に回復するまで業務に従事させません。
- (4) スタッフが休憩する場合は、一度に休憩する人数を減らし、対人距離を確保するとと

もに、対面で食事や会話を避けます。

- (5) スタッフの同居者等にコロナウイルス感染の疑いがある場合（感染者への接触があったことが判明した場合など）には、保健所等の指示を仰ぎ、自宅待機とします。
- (6) スタッフの感染を確認した場合は、速やかに市の所管課に通知するとともに、個人情報保護に十分考慮したうえで、他のスタッフや来館者との接触状況等について正確な実態を把握し、報告します。

## 5 その他

このガイドラインは、地域での感染拡大の状況等に応じて、随時見直しを行います。当ガイドラインが変更になった場合には、市公式ホームページで公表します。

市公式ホームページ [URL:https://www.city.takaoka.toyama.jp/](https://www.city.takaoka.toyama.jp/)